

子略

二月二十日 篤之氏自ち去(一日休けの)
手紙と入寮いたりました、七日退院と
あうます、昔より多分手紙が来た
事と心いますので悉くい事は省き
ます、未だ老病も易いので次使に
ゆずりますと極く簡単な手紙です
後一月位づらくして仕事から離れ
かえを得ませんとあうます、

まあ心配する事とあうまると心いますか
と申す事です、かゝる世理はあふれと心
ます彼氏は千九百四年(明治二十七年)で
すから、

此方はたまたま日雲よりあうますが大体に
晴天統さで暖かになつて来ました
出荷の方は順調に進んでいるようです
今中は大統飲の改選の事と時々
賑はりますか此頃の事です、かゝる
大体は定まらうといふおせり、

大板に新書...
先此の白票...
見事に...

二月十日

昌二

昌二様


Faint, mostly illegible handwritten text, likely bleed-through from the reverse side of the page.

C. K. Takeda,



Guamúchil, S I N,
Mexico,

2-25-22 入掌
3-5- 出書

Mr. G. S. Takeda,

Milpitas,
Calif., 95035.



UTILICE EL CODIGO POSTAL

U. S. A.,

PAR AVION
CORREO AEREO
AIR MAIL